

歯科口腔 抗菌考

むし歯菌・歯周病菌・カンジダ菌の
研究がもたらしたもの

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授

二川浩樹

歯科口腔 抗菌考

むし歯菌・歯周病菌・カンジダ菌の
研究がもたらしたもの

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授
二川浩樹



ヒト由来の乳酸菌「L8020菌」の抗菌ペプチドが

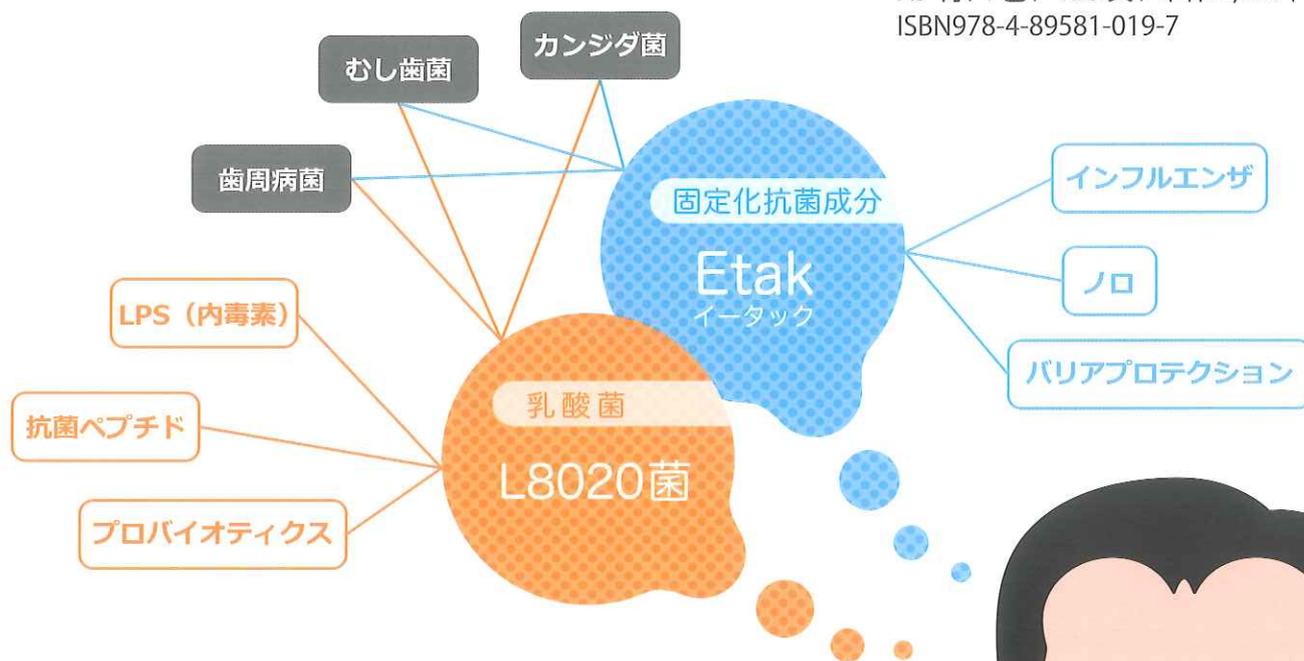
歯周病菌のLPSを 不活性化

(内毒素)

オーラルケアに革命を起こす発見!

メディア株式会社

A5判/4色/128頁/本体2,700円+税
ISBN978-4-89581-019-7



歯周病菌連鎖を抑止できないか。セルフコントロールできない患者さんに歯科で出来ることはないか。その重要課題に真っ向から挑んでいる広島大学大学院 教授 二川浩樹先生。

むし歯菌・歯周病菌・カンジダ菌を抑制する『L8020菌』を発見し、口腔プロバイオティクスの機序を「抗菌ペプチドが歯周病菌のLPSを不活性化する」という観点から解明。さらに、「義歯を抗菌バリアする」という発想で固定化抗菌成分『Etak』を研究開発。まさに「オーラルケアに革命を起こす発見」といえる研究成果を豊富なイラストとエビデンスで分かりやすく解説。

明日の臨床に、将来の歯科医療に価値ある一冊。



